

第166期

報告書

2023年3月 1日 から

2024年2月29日 まで

ASPINA

シナノケンシ株式会社

株主の皆様へ

皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに第166期のご報告を申し上げます。事業の詳細は事業報告をご覧ください。

昨年度はコロナ禍が世界的に収束に向かい、経済活動の回復を期待してスタートしました。しかし、対外的には中国経済の予想外の低迷や、日本の給湯器産業の過剰在庫による減産などの逆風に見舞われました。また社内でも、難しい開発を成功させて量産に移行した大型案件が、顧客製品の市場での反応が弱く全く売れずに生産中断となるなど、大きなマイナス要因が重なりました。予想外に進んだ円安で為替差益が増えたものの、売上・利益とも前年に比べて低いレベルに終わりました。

本社圏再開発は順調に進んでおり、この7月には建物が完成致します。その後、引っ越しや外構工事を行い、来年の7月の完了を予定しています。新本社では間接部門が集結し、同じフロアで仕事をします。社員の交流が進むことで業務効率の向上だけでなく、新しいアイデア創出など、社内の活性化が進むことを期待しています。

この春は政府、財界、労働組合など、全てが賃金上昇の重要性を唱え、昨年に続いて高い賃上げが達成されそうです。当社でも昨年、今年とも高い賃上げを行いました。デフレに陥っていた日本経済が世界的なインフレで浮揚の機会を得たわけですから、なんとしても成長が期待できる社会を目指すべきだと思います。当社でもインフレと金利が存在する経済環境に備えた動きを始めています。昨年度は資金効率を意識した在庫管理の仕組みを立ち上げ、在庫削減を進めました。今後もこの動きを広げ、財務的にも強い会社を目指します。

さて、この株主総会をもって社長を退任し、代表取締役会長に就任致します。それに伴い、金子行宏代表取締役常務が代表取締役社長に、青柳秀雄取締役が常務取締役に就任致します。変化の激しい時代、世代交代で会社の成長を目指して欲しいと思います。社長としての25年間を終えるに当たり、株主の皆様の温かいご支援に、改めまして厚く御礼申し上げます。今後は同じご支援を新経営陣に賜りたく、宜しくお願い致します。

2024年5月

代表取締役社長 **金子元昭**

事業報告

1. 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

当期の世界経済を概観しますと、コロナ禍からの経済活動再開による需要拡大や、半導体の供給回復による製造業の生産制約の解消などにより、世界経済は、緩やかな回復基調となりました。しかし一方で、イスラエル・ハマスの軍事衝突や、ロシア・ウクライナ戦争の継続、米中対立、台湾問題などの地政学的リスクが高まりました。また世界的なインフレと金融引き締め、歴史的な円安進行、中国の不動産バブル崩壊による経済の停滞など、当期は先行きの不透明感がより一層高まった一年でした。

このような環境下、当社の業績は、連結売上高は 514 億円（前期比 89.69%）、営業利益は 1,391 百万円（前期比 54.91%）、経常利益は 1,964 百万円（前期比 50.90%）、当期純利益は 880 百万円（前期比 45.25%）となりました。また単独売上高は 450 億円（前期比 84.23%）、当期純利益は 170 百万円（前期比 29.31%）となりました。なお、単独では営業外収益として関連会社からの配当収入を 22 億円、為替差益を 6 億円、計上しております。また、6月に発生した火災に伴う損失及び収入は特別損益に含んでおります。

各事業の状況ですが、主力のモータ事業につきましては、前述の経済活動再開による需要拡大、半導体供給の回復による生産制約の解消、歴史的な円安などの追い風はあったものの、中国経済の停滞や、予定していた大型案件がお客様の都合により生産中止・延期となるなどのマイナス要因があり、モータ事業全体での連結売上高は、前期比 89.3%と大幅な減収となりました。

分野別の連結売上高は、車載用（前期比 26.5%増）が需要増加と、円安の追い風を背景に好調に推移したものの、医療機器用（前期比 75.4%減）、家電を含む住宅設備用（前期比 14.3%減）が、大型案件の中止・延期の影響を受けました。特に前期に特需で盛り上がった医療機器用の落ち込みが目立ちました。

地域別では、欧州向け（前期比 6.8%増）は堅調に推移したものの、米国向け（前期比 22.9%減）中国向け（前期比 18.1%減）が前年を大きく下回りました。

収益面では、円安の追い風はあったものの、前述の売上高の減少に加えて、材料価格が高値で推移したこと、その他の原価も上昇を継続したことから、当期の連結営業利益は、1,391 百万円（前期比 45.09%減）、営業利益率は、2.71%と大幅な減益となりました。

BV100 第 2 期中期経営計画 3 年目の当期も、BV100 の 4 つの戦略方針（「営業力強化」「技術力強化」「生産力強化」「経営基盤強化」）から、「新規開拓の推進」「サプライチェーンの効率化」「一人ひとりの成長」の 3 つのテーマを柱として活動を続けてきました。

「新規開拓の推進」は継続的な収益改善を目的とし、新規高収益製品の拡販と、既存製品の高収益化を目指すもので、ターゲットを製品群・市場（顧客）などの切り口で層別し、各々のカテゴリーを技術ロードマップと組み合わせた活動であることから、ASPINA CPM（ASPINA・カテゴリー・ポートフォリオ・マネジメント）と名づけて、昨年度から活動を本格化しています。

当期は、約 100 ある CPM 毎の活動計画や実績をデータベース化して一元的に見える化を図るなど、各々の PDCA を細かく、速く回すための仕組みも整備しました。これにより足元の原価改善活動も加速し、当期収益にも大きく貢献しました。

また当期は、給湯器用単相モータ、ヒートポンプモータや、EC (Electronically Commutated) モータなどの新製品開発も進捗しました。量産開始は 2024 年度で、2026 年度には 40 億円の売上を目指して活動を進めております。

「サプライチェーンの効率化」は、状況の変化に機敏に対応することで「顧客満足向上」と「当社収益の最大化」の両立を目指すもので、具体的には在庫 (Inventory) を上手く活用して、より効率的に生産 (Production) をして、変動が激しいお客様の要求に応え、製品をいかにタイムリーにお届け (Sales) するかを追求する活動であることから、社内では「PSI (計画) 活動」と名付けました。

「一人ひとりの成長」では、前期の新任管理者講習やリーダー研修の実施などの各種研修制度の整備に続き、当期は「ダイバーシティ推進室」を設置するなど、多様性 (ダイバーシティ) のある環境づくりにも着手しました。この活動では、今後も「社員の成長」「長く働ける環境の提供」「多様性のある人材活用」「魅力ある職場づくり」を軸に活動を進めてまいります。

IT 面では、当期は中国拠点で生産管理系基幹システムを刷新し、本社でも 2024 年 6 月立ち上げに向けて準備を進めました。今後もメキシコや海外販売拠点にも順次展開する計画です。またその他の活動では、将来に向けた DX ビジョンの策定や、信州大学との連携で、データサイエンス共同研究講座を開催 (8 回) するなど、DX 推進に向けた取り組みに注力しました。

(2) 設備投資等の状況

当期の設備投資は、開発、生産面ともに大きな投資はなく総額 489 百万円となり、一部借入金でまかさないました。関係会社を含めたグループ全体の設備投資は、総額 1,231 百万円となりました。

(3) 対処すべき課題

2024 年度を展望しますと、粘着性の強い世界的なインフレもピークアウトし、各国の金融政策は転換しつつありますが、一方で、これまでの利上げ影響の顕在化や、インフレ再燃による高金利の長期化リスクなども抱えております。また中東情勢などの地政学的リスクも高まりをみせ、世界経済は依然として先行きの不透明感が強い状況で、当社にとっても決して楽観できない厳しい年になると予測しております。

このような環境のもと、BV100 第 3 期中期経営計画の 1 年目の 2024 年度では、BV100 達成に向けて、これまでの「ASPINA CPM」を軸とした「新規開拓の推進」活動をさらに深化させるとともに、「サプライチェーンの効率化」や「一人ひとりの成長」などの各種施策も推進し、業績のさらなる向上を目指してまいります。

貸借対照表

単位：千円
単位未満切捨

科 目	当 期 2024年2月29日 現在	前 期 2023年2月28日 現在	科 目	当 期 2024年2月29日 現在	前 期 2023年2月28日 現在
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	19,032,138	18,168,831	流動負債	17,111,637	17,312,702
現金及び預金	1,724,564	890,872	買掛金	11,677,380	10,428,214
受取手形	991,243	1,672,620	短期借入金	3,983,600	5,605,200
売掛金	12,561,741	12,252,453	未払金	39,834	44,935
商品及び製品	1,554,459	1,576,870	未払費用	727,211	530,831
仕掛品	177,689	193,680	未払法人税等	361	145,693
原材料及び貯蔵品	821,896	885,087	賞与引当金	592,317	464,871
前払費用	58,927	59,790	その他	90,931	92,957
未収入金	1,122,573	576,118	固定負債	3,352,794	3,342,441
その他	19,042	61,336	長期借入金	1,844,000	2,000,000
固定資産	19,142,790	20,140,832	役員退職慰労引当金	532,306	511,956
有形固定資産	5,655,032	3,192,758	デリバティブ債務	527,320	280,453
建物及び構築物	1,113,901	1,185,866	資産除去債務	409,346	517,562
機械装置及び運搬具	247,686	160,304	繰延税金負債	19,690	15,339
工具、器具及び備品	259,513	192,216	その他	20,130	17,130
土地	908,074	908,074	負債合計	20,464,432	20,655,144
建設仮勘定	3,125,856	746,296	(純資産の部)		
無形固定資産	202,378	202,060	株主資本	17,665,071	17,619,134
投資その他の資産	13,285,379	16,746,013	資本金	650,000	650,000
投資有価証券	218,329	204,440	資本剰余金	81,304	81,304
関係会社株式	6,167,689	6,157,065	資本準備金	81,304	81,304
長期貸付金	5,725,460	9,270,440	利益剰余金	16,933,767	16,887,830
前払年金費用	1,042,947	974,483	利益準備金	150,000	150,000
長期前払費用	41,897	36,822	その他利益剰余金	16,783,767	16,737,830
デリバティブ債権	34,374	48,297	別途積立金	11,900,000	11,900,000
その他	54,680	54,463	繰越利益剰余金	4,883,767	4,837,830
			評価・換算差額等	45,424	35,385
			その他有価証券評価差額金	45,424	35,385
			純資産合計	17,710,495	17,654,519
資産合計	38,174,928	38,309,664	負債純資産合計	38,174,928	38,309,664

損益計算書

単位：千円
単位未満切捨

科 目	当 期	前 期
	2023年3月1日から 2024年2月29日まで	2022年3月1日から 2023年2月28日まで
売 上 高	45,029,549	53,460,524
売 上 原 価	44,694,866	50,977,290
売 上 総 利 益	334,682	2,483,234
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	3,348,643	3,739,932
営 業 利 益	△ 3,013,960	△ 1,256,698
営 業 外 収 益	3,625,638	2,464,253
営 業 外 費 用	301,652	219,425
経 常 利 益	310,025	988,128
特 別 利 益	289,451	935
特 別 損 失	222,892	228,620
税 引 前 当 期 純 利 益	376,584	760,443
法人税、住民税及び事業税	206,481	180,078
当 期 純 利 益	170,102	580,364

株主資本等変動計算書

2023年3月1日 から
2024年2月29日 まで

単位：千円
単位未満切捨

科 目	株 主 資 本						評価・換算 差 額 等	純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合 計		
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金				
				別途積立金	繰越利益 剰 余 金		その他有価証券 評価差額金	
当期首残高	650,000	81,304	150,000	11,900,000	4,837,830	17,619,134	35,385	17,654,519
(当期変動額)								
剰余金の配当					△ 124,165	△ 124,165		△ 124,165
当期純利益					170,102	170,102		170,102
株主資本以外の 項目の当期 変動額(純額)							10,039	10,039
当期変動額合計					45,936	45,936	10,039	55,975
当期末残高	650,000	81,304	150,000	11,900,000	4,883,767	17,665,071	45,424	17,710,495

(ご参考)

連結貸借対照表

単位：千円

単位未満切捨

科 目	当 期 2024年2月29日 現在	前 期 2023年2月28日 現在	科 目	当 期 2024年2月29日 現在	前 期 2023年2月28日 現在
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	43,429,470	41,335,479	流動負債	16,442,617	18,484,286
現金及び預金	15,429,069	12,025,461	買掛金	3,245,608	4,312,658
受取手形及び売掛金	12,378,162	13,808,780	短期借入金	8,038,890	9,132,261
商品及び製品	5,927,153	6,122,653	未払金及び未払費用	3,325,349	3,459,832
仕掛品	493,578	547,687	未払法人税等	201,961	391,612
原材料及び貯蔵品	5,864,746	6,897,743	その他	1,630,807	1,187,921
未収入金	1,806,032	347,867	固定負債	8,151,245	5,258,651
その他	1,570,425	1,585,286	長期借入金	5,576,863	2,793,609
貸倒引当金	△ 39,696	-	役員退職慰労引当金	532,306	511,956
			資産除去債務	409,346	517,562
固定資産	23,281,422	21,151,424	繰延税金負債	25,647	103,456
有形固定資産	17,743,793	16,521,460	その他	1,607,082	1,332,067
建物及び構築物	5,604,630	5,663,101	負債合計	24,593,862	23,742,938
機械装置及び運搬具	5,547,796	6,452,957	(純資産の部)		
工具、器具及び備品	1,949,763	2,245,603	株主資本	33,454,716	32,887,367
土地	1,122,257	1,276,081	資本金	650,000	650,000
建設仮勘定	3,519,345	883,716	資本剰余金	81,304	81,304
無形固定資産	305,588	350,808	利益剰余金	32,723,412	32,156,063
投資その他の資産	5,232,040	4,279,155	その他の包括利益累計額	8,652,996	5,847,797
投資有価証券	218,329	204,440	その他有価証券評価差額金	82,023	78,914
長期前払費用	229,766	386,858	為替換算調整勘定	8,108,064	5,637,268
退職給付に係る資産	1,505,855	1,106,098	退職給付に係る調整累計額	462,908	131,614
繰延税金資産	990,916	486,797	非支配株主持分	9,316	8,801
その他	2,287,171	2,094,960	純資産合計	42,117,029	38,743,966
資産合計	66,710,892	62,486,904	負債純資産合計	66,710,892	62,486,904

連結損益計算書

単位：千円

単位未満切捨

科 目	当 期	前 期
	2023年3月1日 から 2024年2月29日 まで	2022年3月1日 から 2023年2月28日 まで
売 上 高	51,439,781	57,355,872
売 上 原 価	41,702,706	45,845,812
売 上 総 利 益	9,737,075	11,510,060
販売費及び一般管理費	8,345,364	8,975,438
営 業 利 益	1,391,710	2,534,622
営 業 外 収 益	1,614,891	1,977,292
営 業 外 費 用	1,042,291	652,482
経 常 利 益	1,964,309	3,859,432
特 別 利 益	289,451	171,406
特 別 損 失	474,958	824,575
税金等調整前当期純利益	1,778,803	3,206,263
法人税、住民税及び事業税	1,113,570	1,436,499
法 人 税 等 調 整 額	△ 215,358	△ 176,290
当 期 純 利 益	880,591	1,946,054
非支配株主に帰属する当期純利益	△ 358	△ 988
親会社株主に帰属する当期純利益	880,949	1,947,043

株式事務のご案内

決 算 期 2月末日

配当金受領株主確定期 期末配当 2月末日

定時株主総会 5月

基 準 日 イ) 毎年2月末日
ロ) そのほか必要あるときは予め
公告します。

株式事務取扱場所 〒386-0498
長野県上田市上丸子1078番地
総務本部
総務部 総務課
TEL 0268(41)1800 (代表)

決算掲載方法

ホームページ

jp.aspina-group.com/ja/group-info/shinanokenshi.html

または、信濃毎日新聞